＜ＥターフＤＵＯ・ＥターフＶ　標準施工（下地：コンクリート）＞

自然が未来 EXISLAND

① 下地

＜下地の確認＞

・新設のコンクリートまたはモルタルの場合は養生をしっかりとり、乾燥状態になってから施工をお願いします。

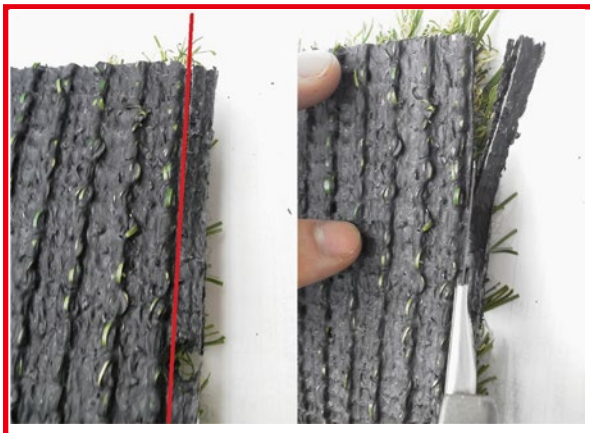
・表面の大きな不陸（凹凸）がある場合はモルタル等で表面が均一になるように補修して下さい。

・Ｅターフ（ＤＵＯ，Ｖ）表面より水下方向へ排水しますので、必ず排水勾配を設けて施工して下さい。

＜清掃＞

・表面のゴミやホコリ、アスファルトの場合は油分を除去して下さい。
ゴミやホコリ、油分等が残っていると接着不良の原因になります。

② 本体準備



端部のカット

＜シワ伸ばし＞

・Ｅターフ本体はロール状で発送されますので、巻癖がついている場合があります。巻癖がある場合は逆巻したり、スチームクリーナー等で伸ばしてから使用して下さい。

＜端部カット＞

・Ｅターフ本体の芝の縫目には約７㎜の間隔があります。
継目の施工時は端部の縫目から出ている基布をカットすることで、継目が目立たなくなります。（左図参照）

＜仮敷きと細部カット＞

・Ｅターフ本体は裏面よりカッターで切るようにして下さい。
表面から切ると芝糸が切れてしまい、きれいに仕上がりません。

・必ず仮敷きを行い、現場の形状に合わせて細部をカットして下さい。
仮敷きを行わずに施工すると細部のズレやシワ等の原因になります。

・Ｅターフ本体は熱により収縮が起こる可能性があります。
直射日光が当たりやすい場所への施工では、端部については熱による収縮を考慮し、少し長めにカットして端部を仕上げて下さい。
（収縮率 0.5%程度）

・仮敷きの際は必ず芝目を合わせて下さい。
芝目はお施主様が芝を見る方向に対して芝が逆立って見えるように施工して下さい。（左図は芝目の合わせ不良）

・障害物がある場合は切れ込みを入れたり、くり抜くことで障害物に合わせて加工しやすくなります。

芝目の合わせ不良

細部のカット

＜ＥターフＤＵＯ・ＥターフＶ　標準施工（下地：コンクリート）＞

③ 接着剤の塗布

・水抜き穴や継目に注意して接着剤を塗布して下さい。
水抜き穴や継目から接着剤がはみ出すと芝が固まり、景観を損ねます。下地がコンクリートの場合、表面排水となる為、水抜き穴は養生テープで塞いでも構いません。
はみ出した接着剤は付属の拭取り剤で拭取って下さい。
・接着剤は下地またはＥターフ本体に塗布して下さい。
塗布量の目安は下地によっても異なりますが、
コンクリートの場合は 500ｇ～ 600ｇ/ ㎡
アスファルト等の場合は 600ｇ～ 800ｇ/ ㎡
・接着剤の溶剤が気化する際のガスで浮きが出る可能性がある為、オープンタイムを十分取って下さい。

④ Ｅターフ（ＤＵＯ・Ｖ）本体の敷設

・端から順に貼り合わせると端部の調整がしやすくなります。
・継目については両端をつまんで貼り合わせることで芝糸が巻き込まれずに施工出来る為、継目が目立ちにくくなり、調整もしやすくなります。

左図：継目を調整し、貼り合わせている様子

⑤ 養生～完了

＜圧着と養生＞
・施工後、特にシワがついている場合はしっかりと伸ばし、浮きが見受けられる場合はその部分をしっかりと圧着し、養生して下さい。
・左図のように浮きが心配な部分にコンパネや土嚢袋等で養生すると施工後の浮きやシワを抑えることができます。

＜ＥターフＤＵＯ・ＥターフＶ　その他＞

施工道具

＜施工時に使用する道具と用途＞

・カッターナイフ

Ｅターフ、Ｅ防草シート等を加工する際に使用します。

・定規（鋼尺）、巻尺（スケール）

現場の採寸、直線を切るときに使用します。

※スタッフがあると長い距離を切るときに便利です。

・ハンマー

固定ピンの固定に使用します。

・マーカー（建築用ペン、チョーク、チョークライン等）

加工するラインをＥターフ本体裏面に書き込むことで加工しやすくなります。

チョークラインは継目の目印として使用でき、接着剤を塗布する際に役立ちます。

・転圧機（プレート）、整地道具

下地の調整に使用します。

・掃除機またはブロアー

施工後の掃除に使用します。

・養生用資材（コンパネ、土嚢袋等）

圧着、養生を行う際に使用します。

＜その他あったら便利なもの＞

養生テープ	継目部分の芝に貼ることで接着剤を塗布する際に接着剤が芝に付着するのを防止できます。
熊手	施工後に芝を立てる際に便利です。（先が尖っているものは不可）
ｽﾁｰﾑｸﾘｰﾅｰ	Ｅターフ本体のシワ伸ばしに使用します。（長時間同じ場所を温めると芝が縮れる場合があります）

接着剤施工時の注意点

＜接着不良の原因＞

・下地が十分に乾燥しているか確認します。

・塗布面を清掃し、ゴミやホコリ、土砂等を除去します。

・接着剤が硬化する前の水分の混入は避けて下さい。

＜接着剤塗布時の注意点＞

・接着剤は塗ムラが無いように塗布して下さい。

塗ムラが施工後のたわみや浮きの原因になる可能性があります。

・勾配がある場合は水勾配、Ｅターフ（ＤＵＯ，Ｖ）の水抜き穴に沿って、水路を確保するように接着剤を塗布して下さい。

・気温が 5℃以下、下地が 5℃以下の場合は使用しないで下さい。

オープンタイム・貼付け可能時間の目安

	オープンタイム	貼付け可能時間（オープンタイム後）
夏(25℃~35℃)	10～20分	40～60分
春・秋(15℃~25℃)	10～20分	40～60分
冬(5℃~15℃)	20～30分	40～60分

※下地の状況により変わります。

※指で触って表面に薄い皮が張り始めたら施工して下さい。

※接着剤に触れて粘着性があるうちは貼り合わせ可能です。

硬化時間の目安

※冬場で湿気が少ない場合は、硬化する時間が少し長く（プラス１日~2日）掛かります。

	硬化時間
夏(25℃~35℃)	約1日
春・秋(15℃~25℃)	約1日
冬(5℃~15℃)	約2日